



保健だより

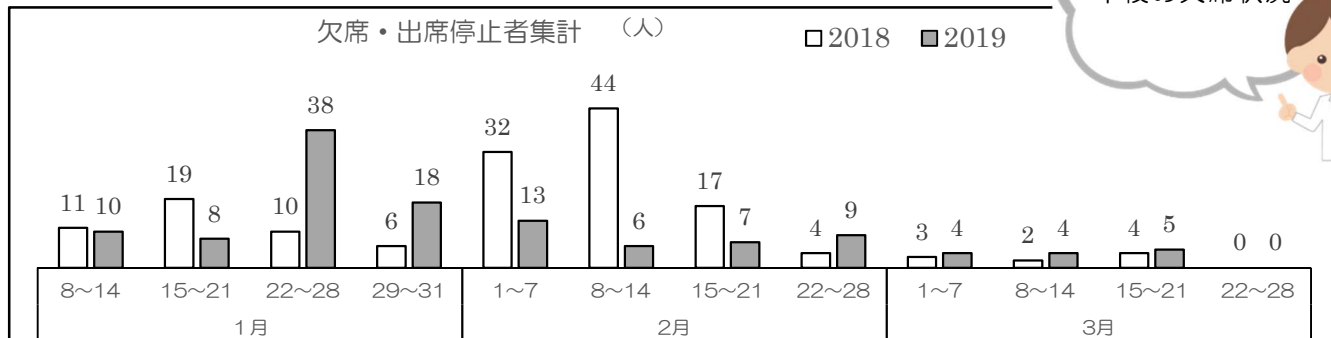
R2.1.31
野木町立野木小学校

インフルエンザ情報

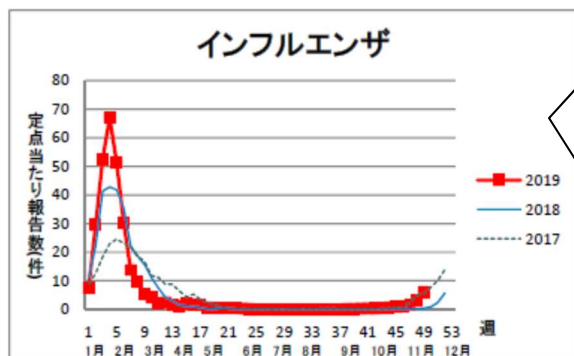
先週、インフルエンザ流行状況をお伝えしました。今週の栃木県内の小中学校・高等学校内でのインフルエンザ感染者は、1,383人となり二週連続で減少傾向となっています。県内の学年・学級休業は、38校となっています。町内のインフルエンザ感染者は、8人となっています。この時期にしては、県内・町内ともに欠席者も少なく落ち着いているようですが、それでも休業をしている所もあります。新型コロナウイルスの影響で「インフルエンザ」の影が薄くなっているようですが、栃木県内の全年齢を対象とした感染者情報では、「県西部地域」を除く全地域が「注意・警戒レベル」となっています。

本校は、今の段階では出席停止者も欠席者、体調不良者も少なく安定して生活を送っています。しかし、学区内に学年休業の学校があることや家族内にも感染者がいることを耳にすると、まだまだ安心できないと考えています。また、ご家庭でも、感染予防や拡大予防のためにマスク着用にご協力いただいているとの話を聞きます。引き続き、感染拡大へのご協力をお願いします。

【本校の1月～3月の欠席・出席停止者状況比較と県内の流行状況】



県内の流行状況と本校の欠席状況



2018年・2019年の県内流行状況と本校の欠席・出席停止者状況がほぼ合致していました。

2018年では、2月上旬から増加し、2019年では1月中旬から増加し、その後急速に減少しました。2019年は、県内の発生件数の割合に比べて、本校での発生件数が少なく流行を最小限に抑えられていたように感じます。これらのことから、今の時期に予防を強化することで、流行を最小限に抑えられることも可能であると考えます。感染を拡大させないためにも、今後も、休日の過ごし方や流行時の過ごし方など、ご協力くださいますようお願いいたします。

【 県南健康センター情報から 】 (1/29の資料から)

急激に減少しましたが、これからが流行シーズンです。

